

**製品名: O-FucT-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15117**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	POFUT2
別名	POFUT2; C21orf80; FUT13; KIAA0958; GDP-fucose protein O-fucosyltransferase 2; Peptide-O-fucosyltransferase 2; O-FucT-2
遺伝子 ID	23275.0
SwissProt ID	Q9Y2G5
免疫原	抗血清はヒト POFUT2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

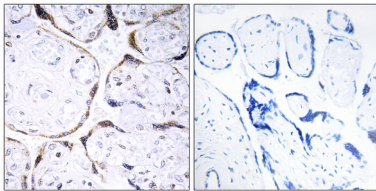
**背景**

フコースは、典型的には分岐鎖複合糖質の末端修飾として見られますが、上皮成長因子 (EGF; MIM 131530) 様反復配列またはトロン

ポスポンジン (THBS; MIM 188060 を参照) タイプ 1 反復配列内のシステイン ノット モチーフ内のセリンまたはトレオニン残基への直接 O 結合でも存在します。POFUT2 は、THBS タイプ 1 反復配列を基質として使用する O-フコシルトランスフェラーゼです (Luo et al., 2006 [PubMed 16464857])。[OMIM 提供、2008 年 3 月]。触媒活性: GDP-β-L-フコースからタンパク質受容体のセリン ヒドロキシ基にアルファ-L-フコシル残基を転移します。機能: トロンポスポンジン タイプ 1 反復配列内の保存されたセリンまたはスレオニン残基に O-グリコシド結合を介してフコースを結合する反応を触媒します。オンライン情報: GlycoGene データベース、オンライン情報: ペプチド-O-フコシルトランスフェラーゼ 2、経路: タンパク質修飾;タンパク質の糖鎖修飾。類似性: グリコシルトランスフェラーゼ 68 ファミリーに属する。組織特異性: アイソフォーム A は胎児肝臓および末梢血リンパ球に発現する。アイソフォーム B は脾臓、肺、精巣、骨髄、胸腺、膵臓、前立腺、胎児脳、胎児肝臓、胎児腎臓に発現する。アイソフォーム C は脳、心臓、脾臓、肝臓、肺、胃、精巣、胎盤、皮膚、胸腺、膵臓、乳腺、前立腺、胎児脳、胎児肝臓、胎児心臓に発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



POFUT2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。